
製品安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名：ウイルス除菌剤
会社名：株式会社センターバレイ
住所：〒649-6414 和歌山県紀の川市打田205
電話番号：0736-78-3991 FAX番号：0736-78-3992
担当部門：緊急連絡電話番号
電話番号：0736-78-3991 FAX番号：0736-78-3992
製品説明：微酸性次亜水、除菌・消臭剤

2. 危険有害性の要約

危険有害性

人の健康に対する有害な影響：区分外

環境への影響：データなし

物理的及び化学的危険性：不燃焼である。

分類の名称：分類基準に該当しない。

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分外

危険有害情報 : 酸性物質と接触すると塩素ガスが発生する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分及び含有量

次亜塩素酸ナトリウム (0.1%以下)

官報公示整理番号：1-237

CAS番号：7681-52-9

塩酸 (0.1%以下)

官報公示整理番号：1-215

CAS番号：7647-01-0

4. 応急措置

吸入した場合 : 大量に吸入した場合は、新鮮な空気の風通しの良い場所に移動して安静にする。

皮膚に付着した場合 : 流水で洗い流す。

目に入った場合 : 流水で洗い流す。何らかの異常を感じたときは医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 多量の水。炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は使用しないこと。

消火方法 : 本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

除去方法：大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：塩素ガスが発生する危険があるため、酸性物質と接触させない。
保管：直射日光・高温多湿な場所を避けて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：設定されていない。
管理濃度：設定されていない。
許容濃度：設定されていない。
保護具：必要に応じて保護メガネ、ゴム手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：無色透明液体
臭い：微かな塩素臭
pH：5.5～7.5
溶媒に対する溶解性：水とどんな割合でも混合
引火点：なし（不燃物）

10. 安定性及び反応性

安定性：含有している次亜塩素酸は徐々に分解し、特に高温下・射光下では分解が促進される。
金属あるいは有機性物質との共存下では分解が加速される。
反応性：次亜塩素酸を含有しているため、酸性物質と反応し塩素ガスが発生する。
避けるべき条件：酸性物質との接触、40℃以上の高温下での保管、直射日光下、開放状態
危険有害な分解生成物：酸性物質との反応により発生する塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性：経口（雌マウス）LD50 20 mL/kg 以上
皮膚刺激性：刺激性なし（ウサギ）
眼刺激性：刺激性なし（ウサギ）
感作性：データなし
慢性毒性・長期毒性：データなし

12. 環境影響情報

移動性：データなし
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性：データなし
生態毒性：塩素成分は水生生物に対して影響があるが、濃度から考えて影響はほとんどない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：大量に廃棄する場合は、有効塩素をチオ硫酸ナトリウム等で中和して排出する。

14. 輸送上の注意

国内法規制 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 :

- ・輸送前に容器の破損、漏れなどが無いことを確認する。
- ・荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取扱う。
- ・積載にあたっては酸性製品と遠ざける。
- ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・直射日光下での輸送は避ける。
- ・水濡れを避ける。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進法 (P R T R法)	: 該当しない
労働安全衛生法/通知対象物	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
消防法	: 該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 該当しない
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	: 該当しない
水質汚濁防止法/水素イオン濃度	: 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 該当する/その他の産業廃棄物

1 6. その他の情報

問い合わせ先: 株式会社センターバレイ

電話番号: 0736-78-3991 FAX番号: 0736-78-3992

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上